

2026 年 10 月 5 日
東日本旅客鉄道株式会社
TOPPAN 株式会社

JR 大月駅へ 非通信型自動通訳ディスプレイ「UCDisplay®LIVE」 を導入します

東日本旅客鉄道株式会社 山梨事業本部(本部:山梨県甲府市、執行役員 山梨事業本部長:石塚 隆志)と、TOPPAN 株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:野口 晴彦)は、JR 大月駅みどりの窓口にて非通信型自動通訳ディスプレイ「UCDisplay®LIVE」を導入します。

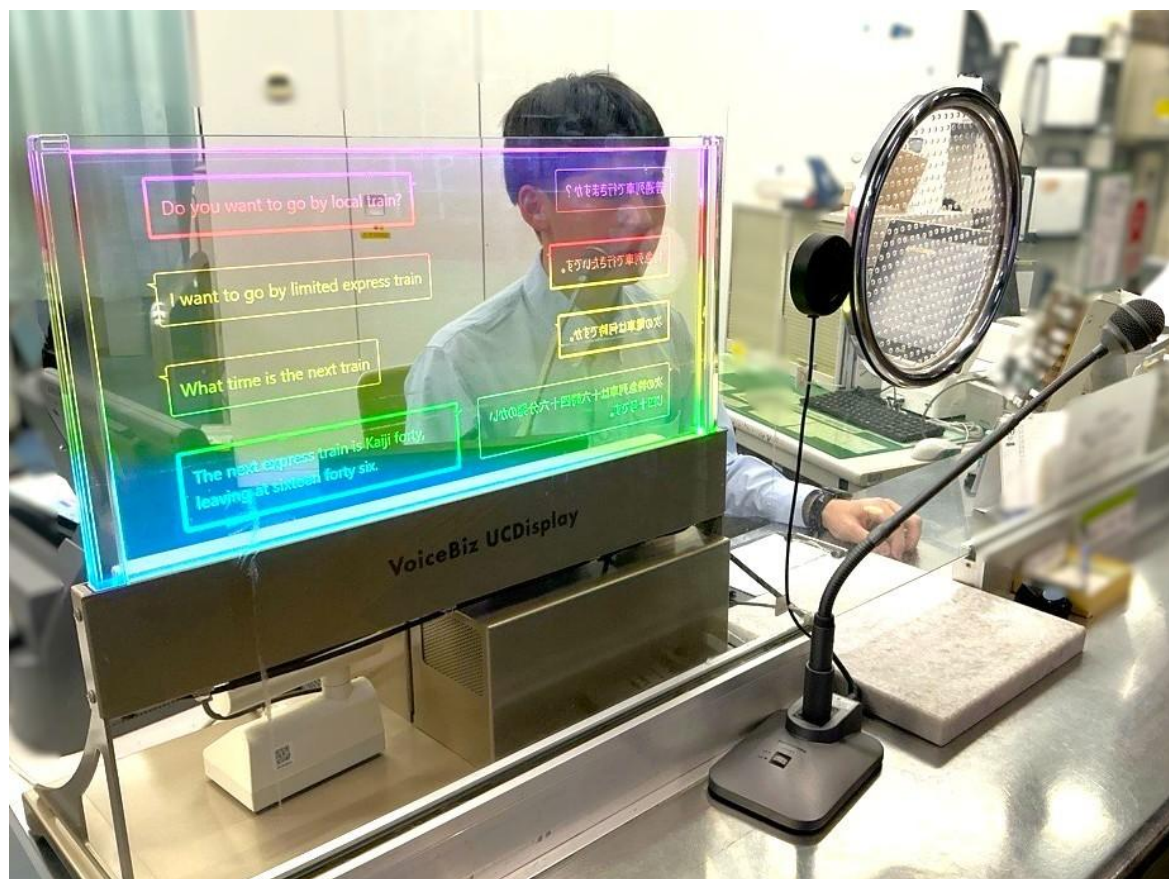
両社は、訪日外国人のお客さまへのサービス向上を目的として、2026 年 3 月から複数回にわたり共同実証実験を実施してきました。その結果、多言語による円滑なコミュニケーションの実現や、窓口対応業務における有効性が確認されたことから、このたび JR 大月駅みどりの窓口への正式導入に至りました。

なお、「UCDisplay®LIVE」の鉄道会社への導入は今回が初(※1)の事例となります。

富士山・河口湖エリアへの玄関口である JR 大月駅において、多言語によるスムーズなご案内を実現するとともに、均質なサービスの提供と社員の対応負担軽減を図り、お客さまサービスの向上を目指します。

■ 概要

- ・運用開始日: 2026 年 10 月 5 日(月)
- ・設置場所: JR 大月駅 みどりの窓口
- ・設置台数: 1 台



■ 導入の背景

近年、訪日外国人のお客さまの増加に伴い、大月駅では多言語によるご案内ニーズが高まっています。特に富士山・河口湖方面への玄関口である大月駅では、富士急行線への乗換案内や特急列車の利用案内など、専門性の高いご案内を行う機会が多く、複雑な内容を正確かつ迅速にお伝えすることが求められています。このような背景から、より円滑にコミュニケーションを実現するため、TOPPAN と共同で実証実験を行い、その成果を踏まえて「UCDisplay®LIVE」の正式導入に至りました。

■ UCDisplay® LIVE の特長

- ・発話内容をリアルタイムで翻訳表示し、円滑なコミュニケーションを実現
- ・インターネット接続に依存しない非通信型のため、安定した運用が可能
- ・16 言語に対応し、幅広い訪日外国人のお客さまへのご案内に活用可能

＊対応言語: 日本語、英語、中国語(簡体字)、中国語(繁体字)、韓国語、インドネシア語、タイ語、ベトナム語、ポルトガル語(ブラジル)、スペイン語、フランス語、フィリピン語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、ウクライナ語

■ 今後の展開

今後も多様化する訪日外国人のお客さまのニーズに対応し、駅サービスのさらなる向上と案内品質の向上を図ります。また、TOPPAN 株式会社と連携して運用効果を検証しながら、より快適で利用しやすい駅サービスの実現を目指します。

※1 「鉄道会社初」とは、TOPPAN の非通信型自動通訳ディスプレイ「UCDisplay® LIVE」を鉄道会社で初めて導入した事例です。

＊ 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

＊ 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上

【報道機関お問合せ先】

- ・東日本旅客鉄道株式会社 山梨事業本部コーポレートコミュニケーション TEL:055-231-2102
- ・TOPPAN ホールディングス株式会社 広報部 TEL:03-3835-5636 / MAIL:kouhou@toppan.co.jp